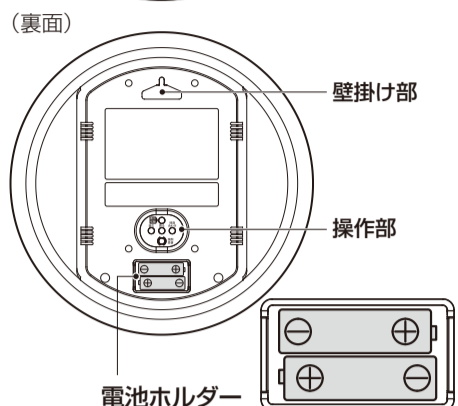
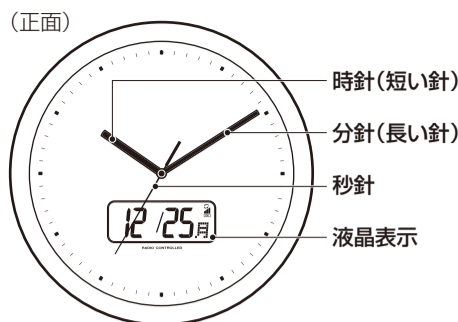


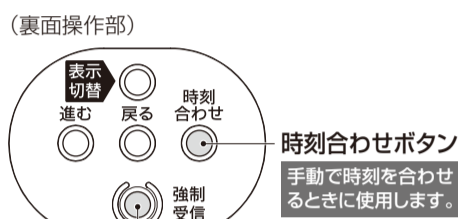


## 使用方法 電池を入れて、電波を受信して時刻を合わせる

◎図は操作説明用ですので、実際の商品と異なることがあります。



### 1 単3形アルカリ乾電池(推奨)を2個入れる



### 2 強制受信ボタン

電池を入れたときや設置場所を変えたときに押します。

○受信に成功してもノイズにより誤った時刻を表示することがあります。このようなときは、場所を変えて強制受信ボタンを押してください。  
○受信に失敗しているときは、表示されている時刻は正しくありません。

### 液晶表示について

○時計を掛けて少し見上げる位置がクッキリと見やすくなっています。他の方向から見ると、表示が薄くなったり、むらになったりすることがあります。  
○強制受信ボタンを押すと、液晶表示が約3秒間全点灯して受信を開始します。

手動で時刻を合わせる場合は、**手動での時刻合わせ**を参照してください。

◎窓際など電波の受信しやすい所でお使いください。

### 1 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れる

⚠注意 電池の⊕⊖を逆に入れると、電池の液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

### 2 強制受信ボタンを押す

針が早送りで12時に移動して、受信が終わるまで停止します。  
※電池を入れた後は、必ず強制受信ボタンを押してください。  
※早送りの途中で針が一時停止することがあります。  
※受信中はボタン操作をしないでください。

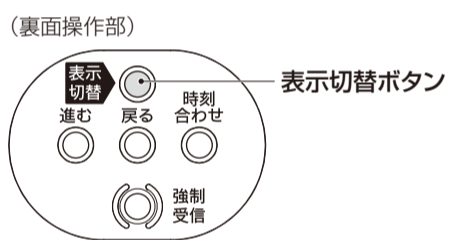
### 3 時計の掛けかたに従って、時計を確実に掛ける

### 4 受信開始から16分後に結果を確認する

最長で16分程度受信を行い、受信が終わると針が早送りで時刻を示します。受信に成功しているときは、電波マーク **OK** が点灯します。  
**標準電波一受信の流れ**を参照。

## 液晶表示の切り替えについて

液晶表示は「カレンダー」と「温度・湿度」を選択できます。裏面操作部の表示切替ボタンを押すたびに「モード1」→「モード2」→「モード3」→「モード1」→…の順番で切り替わります。  
※初期設定時はモード1が表示されます。



モード1 「カレンダー」を固定で表示します。

モード2 「温度・湿度」を固定で表示します。

モード3 自動切替マークが点灯し、「カレンダー」と「温度・湿度」を5秒間隔で交互に表示します。

☑自動切替マーク

## 温度、湿度表示について

### 温度・湿度について

本製品は、一般的な家庭やオフィスなどの室内用です。  
▶直射日光の当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くを避けてください。  
▶温室、プール、サウナ、浴室、冷蔵庫、車の中、屋外などでは使用しないでください。  
湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しのよい所と悪い所で違いがでます。温度、湿度は設置した所の高低によっても違いがでます。  
◎厳密な温度湿度管理、温度湿度の証明には使用できません。  
○センサーが時計内部にあるため、すぐには周囲の温度・湿度の変化を反映しません。  
○測定範囲を超えたときの表示とその意味  
温度「Hi」50℃を超える高温 「Lo」-9.9℃未満の低温  
湿度「Hi」95%を超える多湿 「Lo」20%未満 「--」測定不可  
\*湿度は温度が5~50℃のときに測定可能

## 時計の掛けかた

### ⚠注意 掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。

○掛けるときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け穴に掛け具(木ねじ)がしっかり掛かっていることを確認してください。  
○垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。  
○市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。  
○ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。  
■付属の木ねじを使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



■石こうボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

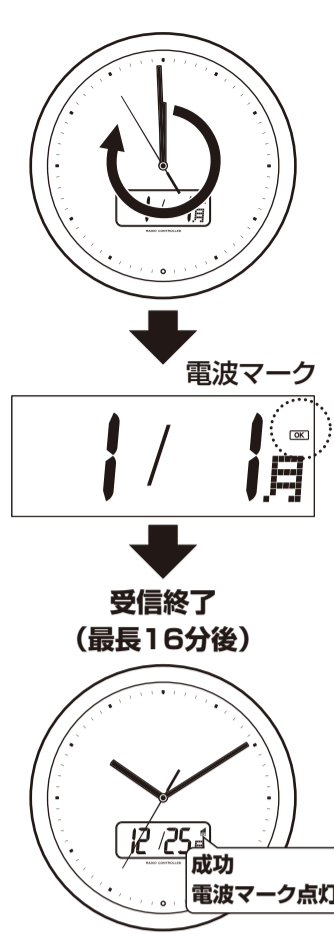
## 電池の交換時期お知らせ機能.....常時秒針が12時位置に止まる

電池の交換時期になると、秒針が12時位置に停止して電波の受信を停止します。  
※時針と分針は、このような状態になってから1ヵ月程度動き続けます。  
※電波を受信しているときや手動で時刻を合わせているときは、秒針が停止します。

### ⚠注意 電池の交換 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

電池からの液漏れにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことをお守りください。  
●時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。  
●時計が動いていても1年に1回定期的に交換する。  
●新旧電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。

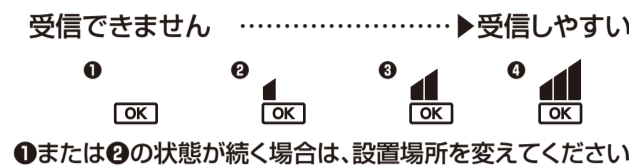
## 標準電波一受信の流れ



### 1 強制受信ボタンを押す

針は、12時に移動して、受信が終わるまで停止します。  
※受信が終わるまで、操作ボタンに触れないでください。  
※早送りの途中で針が一時停止することがあります。

**電波マークの変化について(電波サーチ機能)**  
はじめは短い間隔で点滅します。受信する局が、九州局または福島局のいずれかに決まると、1秒間隔の点滅に切り替わります。電波マークは、受信中、電波の状態に応じて1秒間隔の点滅で変化します。



### 2 受信結果を確認する

▶**受信成功**  
受信に成功すると電波マーク **OK** が点滅から点灯表示に切り替わり、針が時刻を表示します。電波マークは受信成功後、およそ25時間点灯します。  
▶**受信失敗** **標準電波を受信できない場合**へ  
受信に失敗すると電波マークは消灯します。表示されている時刻は正しくありません。

## 標準電波を受信できない場合

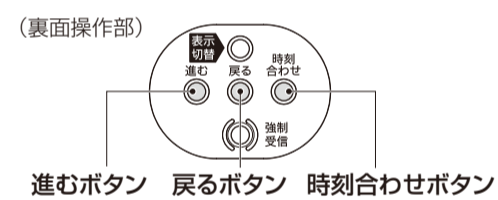
- 朝までそのままにしておく  
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える / 受信をやり直す  
電波の受信しやすい窓ぎわで、取扱説明書の日本地図を参考に、時計の正面または裏面が電波の送信所に向くようにして、強制受信ボタンを押して受信を試みてください。
- 時刻を合わせて使用する  
ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。電波を受信できないときの、時間精度はクオーツ精度になります。

## 手動での時刻合わせ... 任意の時刻に合わせるときや電波受信機能のON/OFFを設定するとき

- (1)時刻合わせボタンを年(西暦)が点滅するまで約2秒間押し続けます。
- (2)年(西暦)、月日、時刻、電波受信ON/OFFの順に設定します。
  - 進むまたは戻るボタンを押して数値を合わせます。押してすぐ離すと、数値が1つ変わり、押し続けると連続して変わります。
  - 時刻合わせボタンを押すと、次のステップに移ります。

操作例. 2023年12月25日 午前10:37に合わせる

- 1 設定状態にする  
時刻合わせボタンを年(西暦)が点滅するまで、約2秒間押し続ける。
- 2 年(西暦)  
進むまたは戻るボタンで「2023」に合わせ、時刻合わせボタンを押す。
- 3 月日  
進むまたは戻るボタンで「12月25日」に合わせ、時刻合わせボタンを押す。
- 4 時刻  
進むまたは戻るボタンで「10:37」に合わせ、時刻合わせボタンを押す。



※時刻設定は24時間表示で、午前(AM)/午後(PM)の表示はありません。  
※操作を約1分間中断すると、表示されている内容に設定して、設定前のモード表示に戻ります。  
※電波受信機能をONにした場合、定期的受信を行い、受信に成功すると時刻を修正します。  
※標準電波を受信しない場合の時間精度は、平均月差±20秒のクオーツ精度になります。

※進むまたは戻るボタンを押すたびにゼロ秒になります。  
※進むまたは戻るボタンを押すと針が停止します。

- 5 電波受信ON **OK** / OFF **OFF** 選択  
進むまたは戻るボタンで、電波受信のON/OFFを選択して、時刻合わせボタンを押すと、設定前のモード表示に切り替わり、針が早送りで、設定した時刻に移動してから、時を刻みはじめます。

## 標準電波受信機能のON/OFF切り替えについて

電波受信機能は、電池を取り出し回路内に電荷がなくなると、次に電池をセットしたときにONになります。  
ONの場合は、定期的受信を行い、受信に成功すると日時を修正します。  
OFFの場合は、受信を行いません。誤受信しやすい所で使用する場合は任意の時刻に合わせてご使用になるときに、OFFにします。  
電波受信のON/OFF設定は、**手動での時刻合わせ**の操作の中で行います。  
※電波受信のON/OFFだけを切り替えるときは、④の項目までは、時刻合わせボタンのみを押して、⑤電波受信ON/OFFまで進めてください。  
※電池を取り出しても、設定を長い時間保持しています。

## 強制受信ボタンについて

電池を交換したときや設置場所を変えたときなど、受信を開始するときを押します。  
**電波受信機能がONのとき**  
強制受信ボタンを押すと受信を開始します。電波マーク **OK** が点滅をはじめ、針は12時に移動して受信が終わるまで停止します。  
**電波受信機能がOFFのとき** ..... **OFF** が表示されています  
強制受信ボタンを押すと、電波受信機能がOFFの設定でも受信を開始します。  
電波マーク **OK** が点滅をはじめ、針は12時に移動して受信が終わるまで停止します。電波受信機能をOFFにするときは、再度 **手動での時刻合わせ**の操作を行ってください。

## 静電気の影響について

静電気の影響により、正常に動かなくなることがあります。このようなときには、強制受信ボタンを押してください。

## お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的な汚れを落としてください。